

令和元年度事業報告

日本競走馬協会は、生産及び流通の改善合理化等の事業目的に資するため、令和元年度において次の事業を行った。

1. 臨時家畜市場の運営

第22回セレクトセール

開催場所 ノーザンホースパーク

開催日 7月8日(月)・7月9日(火)

【セレクトセール2019の結果】

市場	上場頭数	売却頭数	売却率
1歳	239	222	92.9%
当歳	216	194	89.8%

2. 海外研修

(1) 米国競馬に対する見識を広めるため、10月31日から9日間、10会員から16名が参加し、カリフォルニア州のサンタアニタ競馬場で開催されたブリーダーズカップを観戦するとともに、ケンタッキー州レキシントン周辺の牧場とせり市場を視察した。

(2) 海外主要レースにおける国内産馬の活躍を視察するため、12月7日から3日間、会員等14名が参加し、香港のシャンティン競馬場で開催された香港国際競走を観戦した。

3. 種牡馬DVD制作事業

令和元年度の「Stallions in Japan 2020」は、優良種牡馬106頭、功労馬20頭の映像を収録し、DVDとブルーレイディスクのセットで関係者へ配布した。

また、希望種牡馬についてはインターネット上に公開した。

4. 海外競馬関連書物翻訳出版事業

我が国における競走馬生産の振興に資するため、史上最強馬のフランケルを育て上げた名調教師ヘンリー・セシルの生涯を綴った「凱歌 ヘンリー・セシル公式バイオグラフィー」を1,000部翻訳出版し、会員をはじめ関係者に配布した。

5. 競走馬生産育成研究助成事業

競走馬の生産、育成、調教等の研究に推進に資するため、大学を対象に助成対象課題を公募し、研究課題 6 件、研究情報収集課題 2 件を選考し助成した。

6. 引退名馬繫養展示事業

引退した重賞競走勝馬の功労に報いるため、(公財) ジャパンス・タッドブック・インターナショナルが実施する引退名馬繫養展示事業に対し助成した。

7. 馬産地競馬振興対策事業

ホッカイドウ競馬の振興に寄与するため、馬産地の行う支援対策事業に対し助成した。

8. 会報の発行

協会の主要行事、関連業界の動向並びにセール取引馬の競走成績などの情報を会員等に提供するため、第 32 巻第 1 号～第 6 号まで発行した。

9. 市場取引馬の競走成績等の情報提供

インターネットホームページを通じ、セレクトセール取引馬の競走成績、セールに関する最新情報、協会が行う事業の紹介等の情報提供を行った。

10. 牧場就業促進活動事業への参加・協力

「BOKUJOB フェア」等、競馬生産関係団体が一丸となって実施している牧場就業促進活動に積極的に参加・協力した。

11. 関係諸団体等との連絡調整

農林水産省をはじめ日本中央競馬会、地方競馬全国協会、(公社) 日本軽種馬協会等の関係諸団体と随時連絡をとり、密接な情報交換を行った。